

平成 29 年度

環境部 重点施策・事業の進捗状況

(1) 可燃ごみ広域処理施設の整備

目標	平成 28 年 5 月に設立した枚方京田辺環境施設組合において、同組合による可燃ごみ広域処理施設の整備を進めます。
取り組み	枚方京田辺環境施設組合による環境影響評価の実施など、京田辺市と連携しながら、可燃ごみ広域処理施設の円滑な整備に向け、取り組みを進めます。 平成 29 年度当初予算：110,379 千円

9 月末の
進捗状況

【○】

枚方京田辺環境施設組合において環境影響評価（環境アセスメント）の手続きを順次進めている。
計画段階環境配慮書について 8 月 17 日付けで京都府知事の意見が付された。

(2) 地球温暖化対策の推進とごみ減量の取り組み

目標	地球温暖化対策実行計画を改定し、市民・市民団体・事業者・行政の各主体による再生可能エネルギーの利用拡大や省エネルギー・省 CO ₂ 活動、4R の普及・啓発によるごみの減量・リサイクルなどの取り組みを推進することにより、市域で排出される温室効果ガスの削減を図ります。
取り組み	「枚方市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」の改定作業を進めるとともに、「枚方市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）」の次期計画を策定します。また、環境にやさしいライフスタイルへの転換やペットボトル・プラスチック製容器包装、紙類等のごみの資源化を促進するため、引き続き情報発信・啓発活動等に取り組みます。 平成 29 年度当初予算：272,054 千円

9 月末の
進捗状況

【○】

枚方市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の改定について、環境審議会へ諮問を行い、8 月に専門的な視点による検討を行う地球温暖化対策実行計画検討部会を開催した。また、枚方市地球温暖化対策協議会と連携し、エコライフキャンペーン、ライトダウンキャンペーンや緑のカーテンコンテストなどの普及・啓発活動を実施した。さらに、広報ひらかたや市ホームページ等による情報発信を始め、市内小学校全校にごみカレンダーを配布するなど、ごみ減量に関する啓発を行うとともに、6 月から出張回収品目に紙とおもちゃ（主に製品プラのリユース目的）を加えて、リサイクルなどの取り組みを実施した。

(3) 空き家・空き地対策の推進

目標	管理不良な空き家・空き地の所有者等に対し、適切な指導等を行うとともに、空家等対策の推進に関する特別措置法に基づく枚方市空家等対策計画を策定し、本市における総合的な空家等対策に取り組みます。
取り組み	枚方市空家等及び空き地等の対策に関する条例を平成 29 年 4 月より施行し、空き家と同様に管理不良な空き地等に対する指導等を行います。また、法に基づく空家等対策計画を策定します。
	平成 29 年度当初予算：10,149 千円

9 月末の 進捗状況 【○】

法や条例に基づき、管理不良な空き家や空き地に対する指導を行った。相談件数は 9 月末現在で 229 件（空き家 127 件、空き地 102 件）。
また、空家等対策計画の策定に向けて、計画（案）のパブリックコメントを実施した。

(4) 淀川衛生工場し尿処理施設の整備

目標	淀川衛生工場の処理設備の老朽化や公共下水道の普及に伴うし尿等の処理量の減少に対応し、効率的・効果的な処理を行うため、平成 29 年度中にし尿等の希釈放流を開始します。
取り組み	し尿等の希釈放流の開始に向けた施設の改造工事を行います。
	平成 29 年度当初予算：357,000 千円

9 月末の 進捗状況 【○】

平成 29 年 12 月末の希釈放流開始に向け、工事施工中。

(5) 市民との協働による環境施策の推進

目標	第 6 回目となる市民参加型の枚方市自然環境調査を実施するとともに、アダプトプログラムを推進させることで、市民の環境への関心と理解を深め、市域の環境保全に取り組めます。
取り組み	平成 30 年度にかけて市民参加による自然環境調査を実施するとともに、市民との協働によりアダプトプログラム実施団体による美化活動の支援を継続し、環境保全に対する市民の理解と関心を深めます。
	平成 29 年度当初予算：9,233 千円

9月末の
進捗状況
【〇】

枚方市自然環境調査の実施に向け、広報で調査員を募集し、8月に調査員に対して説明会を開催した。調査は10月から平成30年10月頃にかけて実施する予定。また、引き続きアダプトプログラム実施団体への支援を行い、環境保全に対する市民の理解と関心を深めた。実施団体数は1団体増え、61団体となった。